

東新町・小茂根地域における取組みについて

(令和7年5月)

板橋区 都市整備部 都市計画課

本日の次第

(1) 経緯と今年度のスケジュール

- ・令和5年から6年の取り組みと令和7年度の取り組みスケジュール

(2) [議題1] 地域の交通の現状

- ・路線バス（池55系統・環七系統）の利用状況と減便の影響
- ・「ちょっと不便」でも使いこなす工夫（時刻表・二次元コードの活用など）

(3) [議題2] 路線バスの空白時間や空白地域をどう補うか

- ・空白時間帯に「何が足りないのか」を地域で考える
- ・タクシー／デマンド交通／マイカー乗合交通など、新たな移動手段の比較

(4) [議題3] この地域らしい「元気な移動」を考える

- ・都立城北公園や石神井川沿いなどウォーキングを楽しむ姿も多くみられる
- ・この地域の健康志向を活かした「無理のない移動方法」を考える
- ・シェアサイクルなど「あと少し」を埋める交通手段の可能性

(5) その他

- ・次回の予定について

1 (1) 地域と考えるこれからの交通～バス路線の未来と新たな交通の検討～

令和5年度

第3回 (R6.2.5)

- ・検討対象地域の選定 → **候補地域から、アンケート結果や立地条件を踏まえ、地域を選定**
- ・導入サービス候補の整理 → **考えられるサービスの比較検討**

- ・アンケート結果と地域特性を踏まえた詳細な分析
- ・候補地域、導入サービスの検討整理

令和6年度

第1回公共交通会議 (R6.6.25)

- ・アンケートの実施、分析
- ・地域特性、対応策の整理、検討
- ・導入サービス候補の抽出

選定した東新町・小茂根地域において、**移動に関する課題や意向を詳細に調査**するとともに、**地域住民との検討を実施**した。

第2回公共交通会議 (R7.2.3)

東新町・小茂根地域における、
地域住民との検討の結果、アンケートの結果を報告、今後の取組の提示

令和7年度

第1回公共交通会議 (R7.5.26) 今回

選定した東新町・小茂根地域において、国際興業バス「池55系統」（小茂根五丁目～池袋駅東口）の路線維持と空白時間帯における新たに導入可能な交通について、**地域との検討を実施予定**。

令和7年度第1回東新町・小茂根地域交通検討会

1 (2) 令和7年度の取組スケジュール

地域交通検討会

第1回 5/29(木)

国際興業バス『池55系統』(小茂根五丁目～池袋駅東口)バス減便後の実態と「ちょっと不便」の乗りこなし術

- (1) 減便後の影響
- (2) 住民の移動実態
 - ・どの時間が不便、この曜日のこの時間帯のバスは大切など
- (3) バス、鉄道の乗りこなしの工夫
 - ・ダイヤの特徴を踏まえて
- (4) この地域で使いやすい乗り物とは
- (5) 町会での情報共有の必要性
- (6) 意見交換(フリーディスカッション)

第2回 10月頃

バスと新たな乗物の共存を考える

- (1) シルバーバスの活用法
- (2) 新たな乗物の必要性はあるのか
 - ・ほんとうの使いやすさとは
 - ・それはどんな乗り物なのか
 - ・新しい乗り物がバス路線廃止につながるリスクについて整理
- (3) 意見交換(フリーディスカッション)

第3回 2月頃

議論の整理と町会の行動計画

- (1) 議論の振り返りと町会の公共交通利用促進
 - ・月に一回のバスに乗っておでかけプラン
- (2) バス運行空白時間に自主運行の可能性
 - ・月に一回自家用車でおでかけプラン
- (3) 国際興業バス『池55系統』(小茂根五丁目～池袋駅東口)の維持について
- (4) 意見交換(フリーディスカッション)

1 (3) 令和7年度の取組

(1) 国際興業バス『池55系統』(小茂根五丁目～池袋駅東口)の路線維持

- ・減便の影響、バス乗りこなしの工夫（二次元コードの利用）
- ・地域でできることの検討、取組の設定（利用促進活動）
- ・広報、PR資料等の作成、地域への呼びかけ
- ・シルバーバスの上手な使い方（バス、鉄道の乗りこなし、ダイヤの特徴）

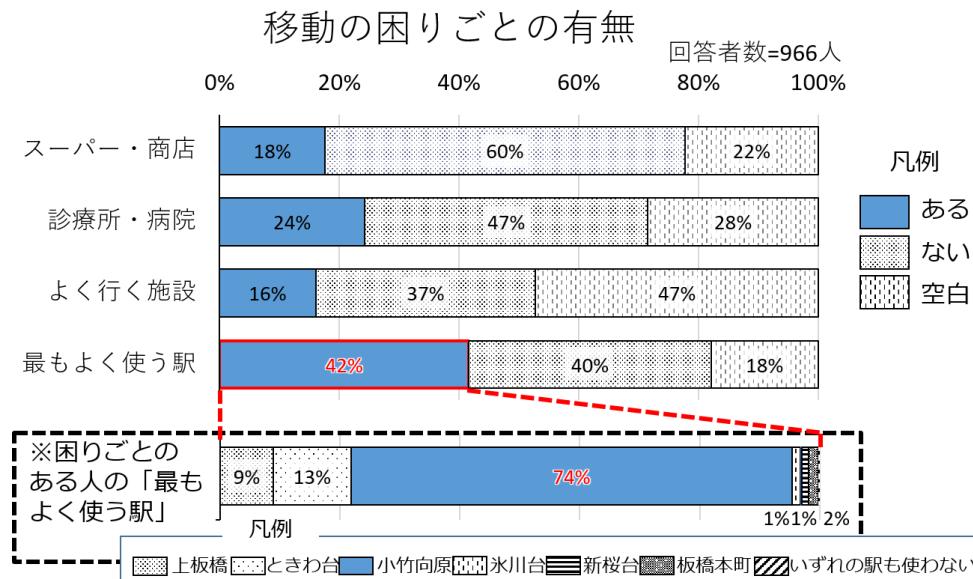
(2) 東新町・小茂根地区の「新たな交通手段」の検討

- ・新たな乗物の導入の可能性はあるのか
- ・バスの補完が必要な時間帯の確認
- ・目的地の検討（小竹向原駅方面、ときわ台駅方面等）
- ・この地域で本当に使いやすい乗り物とはなにか
- ・実証運行の検証（利用状況、運行状況、地域の状況変化等）
- ・この地域における高頻度運行とは週に何本くらいなのか

2 (1) 東新町・小茂根地域の現状

● 鉄道駅までは10分～15分の距離

- ・東新町・小茂根地域は「駅から500m以上」「バス停から300m以上」離れたエリアがある。
(相対的に公共交通サービス水準の低い地域)
- ・駅からの距離は700m～1000m程度の距離、所要時間は徒歩では10分～15分
- ・城北中央公園など運動施設があり、比較的健康な高齢者も多い。
- ・現時点で重大な交通孤立はないが、将来不安がある。



3 (1) バス路線の維持にむけた取り組み

- 今あるバス路線を残すためにできること。
- ・既存のバス路線の減便、路線廃止を防ぐため、利用する時間帯や行先など地域の声をまとめましょう。
- ・ちょっと不便でも使いこなすコツはなにか ご意見シートにご記入下さい。
- ・(例) この時間帯のバスは「病院の朝の採血に間に合う」「昼の買い物」「休日家族に会いに行く」

ダイヤ改正の変遷(小茂根五丁目発) ※過去の時刻表の時間は伏せています。

2017年まで1日22本 (40分毎・イメージ)		2023年まで1日11本 (80分毎・イメージ)		現在1日6本		2023年1日●本	
時刻	平日・土日祝	時刻	平日・土日祝	時刻	平日・土日祝	時刻	平日・土日祝
5		5		5		5	
6	●	6	●	6		6	
7	●●	7		7	15	7	
8	●●	8	●	8	40	8	
9	●●	9	●	9	58	9	28
10	●	10	●	10	54	10	
11	●●	11	●	11		11	
12	●	12		12	06	12	
13	●	13	●	13		13	
14	●●	14	●	14	10	14	?
15	●	15	●	15	53	15	30
16	●	16		16	50	16	
17	●●	17	●	17	13	17	
18	●●	18	●	18	28	18	
19	●	19	●	19		19	
20	●	20		20		20	
21		21		21		21	



3 (2) まず取り組みたいこと：公共交通の利用促進 (バスを上手に使うコツ)

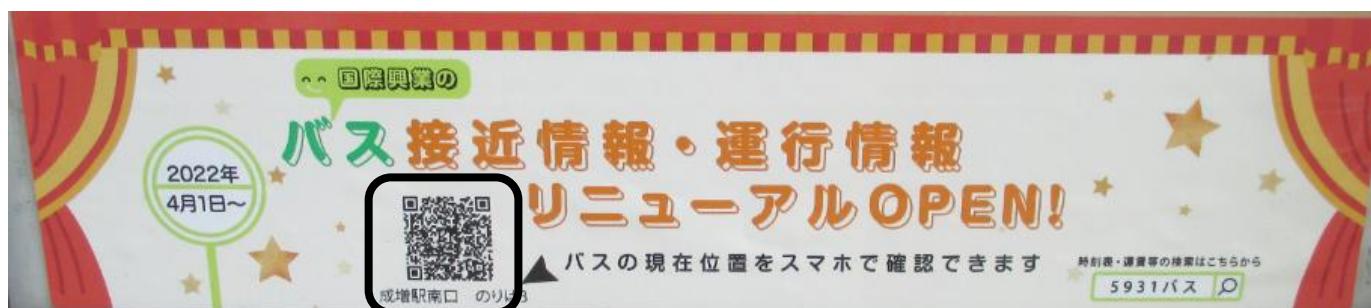
● ちょっと不便でも使いこなすコツ

・バス時刻がすぐにわかる二次元コード集の作成と配布。

・シルバーバスを使って、あなたならどこへ行きたい？

・「行ってみたい場所」「行きたい理由」などをご意見シートにご記入下さい。

(例) 巣鴨とげぬき地蔵、花の名所巡り、サンシャインシティ等。



小茂根バス停

● 二次元コードを読み込んでみる

・バスが近くまで来ているかがわかります

3 (3) この地域にあう、新しい乗り物とは

- この地域のニーズにあう乗物をみんなで考える。
- ・既存のバス路線を活かしつつ、「空白時間帯」と「空白地域」をどう補うか。
- ・国際興業バスの路線に影響を与えないことも大切。（バス会社との調整）。
- ・AIデマンド交通、マイカー乗合交通、タクシー連携など、幅広く学んで検討。
- ・足りないところを、みんなで埋めるアイデアをご意見シートにご記入下さい。

●東新町・小茂根地域の具体的な移動手段の選択肢 (令和6年度アンケート結果から)

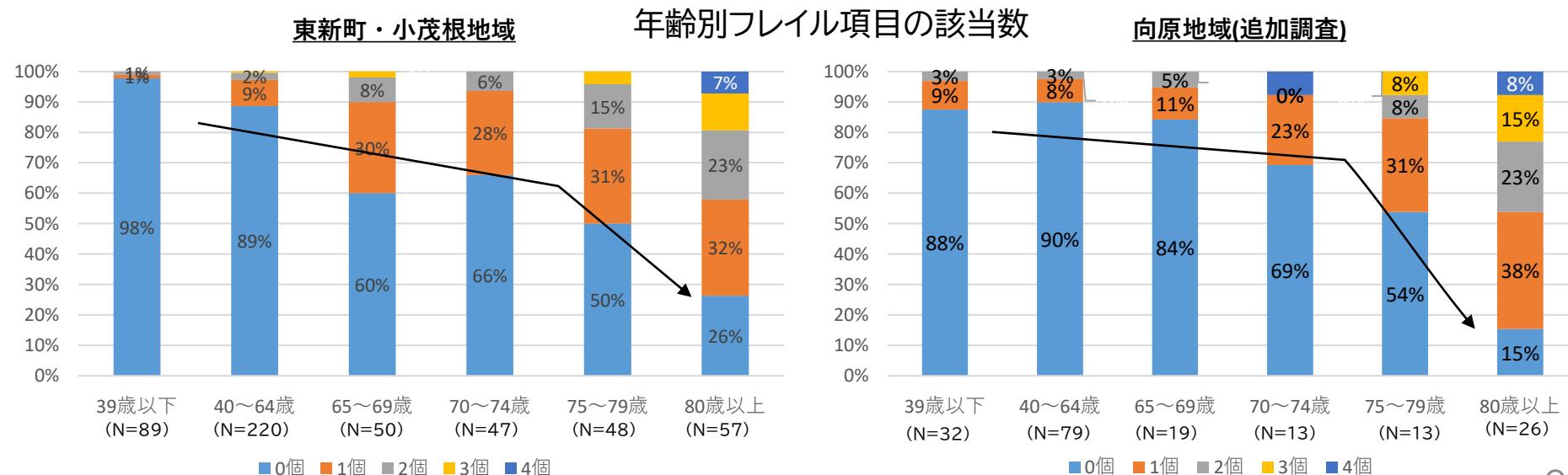
種類	A.乗合交通 (ワゴン車を活用)	B.タクシーの相乗り (通常のタクシーを活用)	C.助け合い交通 (自家用車を活用)
イメージ			
積極的な利用意向 (アンケート結果)	約11%	約5%	約9%

4 (1) この地域の強みを活かしたフレイル予防とは

- 東新町・小茂根地域の強みをいかしてできることをご意見シートにご記入下さい。

- ・城北中央公園などで運動習慣はありますか。→ 元気な方が多い印象
(令和6年度アンケート結果から)
- ・あなたは一日に何歩あるいていますか？ご意見シートにご記入下さい。
- ・まずは区内で出かける楽しさを取り戻す。

※フレイル 加齢に伴い身体機能や心身の活力が低下し、要介護状態になるリスクが高まった状態



年齢が上がるにつれて該当数が多くなる。75歳を境に一段と該当数が増える。どちらの地域も傾向はほぼ同じである。

4 (2) この地域らしい「元気な移動」を考える 自転車も移動手段のひとつ、駅やバス停までの「接続」として 考えてみませんか

- 公共交通の補完(端末交通手段)として、移動の選択肢を広げてみる。
 - ・自宅と駅、目的地間の「あと少し」を補う移動手段として使ってみる。
 - ・この地域内のシェアサイクルポート（貸出、返却場所）はハローサイクリングとLUUPがあります。
 - ・駅前や幹線道路沿いだけでなく、コンビニ、店舗、住宅地にも点在しています。
 - ・どのような場面で使えそうか？利用する際の不安な点をご意見シートにご記入下さい

●サイクルポート例(東新町・小茂根地域)



●デジタルの活用に挑戦してみましょう。

・スマホで登録してみよう。キャッシュカードがなくてもPayPayが使える。



桜川地域包括支援センター



桜川地域センター前